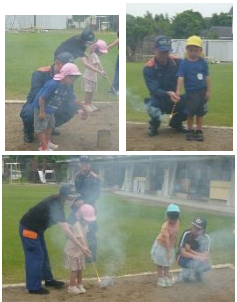


暑い日が続いた7月。幼稚園では“夏”を感じる行事や遊びがたくさんありました。また、地域の祭り見学や、音楽を通しての国際交流の機会を通し、いろいろなことへの興味・関心が広がったようです。

花火教室では、消防士さんや女性消防団の方が花火の正しい遊び方を教えてくださいました。見本を見せてくれた人が、悪い持ち方をしている時には「ダメ」「危ない」と大きな声で注意をしていた子どもたち。一人ずつやってみることにすると、火をつけてから、花火が終わってバケツに入れるまで緊張した顔で真剣に取り組んでいました。花火はきれいですが、怖いものということを忘れず、安全に楽しく遊んでください。



熱川小学校の体育館で開かれた「台湾宜蘭 Jr オークストラ」コンサートを鑑賞しました。とても優しい音色だったので曲に聞き入ったり、手拍子をするときには楽しそうに手をたたいたりする様子が見られました。なんと、年長の2人が選ばれ指揮をすることに！緊張気味の2人でしたが、大勢の前でタクトをふる姿は立派でした。児童会主催の「もうじゃう祭りゲーム」にも参加させていただき、小学生や台湾の団員と一緒に楽しみました。文字数がわかるとみんなて手を繋ぎ、足りない人数を集めるために小学生の中に入っていき姿はたくましかったです。また、交流が深まったように思います。



熱川小学校のプールに遊びに行かせてもらいました。

小学校のプールは広くて気持ちよく、いろいろなことにチャレンジできるので「先生、見て」「こんなことができるよ」とそれぞれが得意なことを見せてくれました。初めは怖そうだった年中さんも先生の背中に捕まったり、ボール取りをしたり、徐々に自分から動けるようになっていました。1年生のプールの授業の様子も見ることができ、1年生がやっていたプールの中のドッジボールに興味津々。やってみたいという子もいましたが、それは小学生になってからの楽しみにしてください。小学校のプールでは、水の中で伸び伸び体を動かしたり、泳いでみたりなど幼稚園のプールではできない経験ができ、もっと水と親しむことが出来ました。

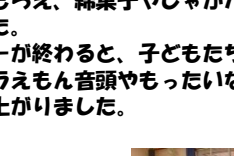
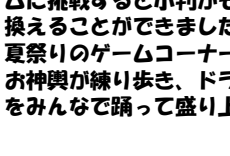


幼稚園の田んぼで田植え（稲）をしました。田んぼの中に足を入れると…ヌルッ「足が…」ヌルヌルッ「歩きにくい」と前に進みにくそうなお姿がみられました。稲を3本の指で掴み泥の中へ。上手に植えることができました。秋には美味しいお米がとれるといいなあ



今年も夏祭りを開催！お母さんたちが、的あて、サッカー、ボーリング、玉投げ、さかな釣りなどの各コーナーにつき、ゲームをクリアすると「当たったね!」「じゃうず!」と一緒に喜んでくれました。クリアしてもらったメダルはフレスレット、ぴんぴんうさぎ&カエルなどに交換、さらにゲームに挑戦すると小判がもらえ、綿菓子やじゃがバター、ポップコーンに換えることができました。

夏祭りのゲームコーナーが終わると、子どもたちが作ったお神輿が練り歩き、ドラえもん音頭やもったいない音頭をみんなで踊って盛り上がりしました。



稲刈りの夏祭り見学では、大人のお神輿を目の当たりにして大興奮。園に戻ると自分たちのお神輿を担いで「ワッショイ!ワッショイ!」「これじゃあどうだ」とジャンプしていました。

天気の良い日には園庭の芝生の上で裸足になって水遊び。砂場ではれい水がどんどん小さくなっていく不思議に興味津々。お友達のお家からいただいたスイカでスイカ割りをしたり、プールをボールプールにして遊んだり、楽しいことがいっぱい1月でした。



翌日から夏祭りごっこが始まりました。年長さんがお店の人を努め、年少さんと年中さんがお客さん。年長さんはやり方、立ち位置を優しく教えてあげていました。その後も夏祭りは続き、今度は年中さんがお店番をし、年長さんが教えてくれたようにルールを伝えたり、はりきって仕事をしてくれました。

